

研究課題名「早発卵巣機能不全患者の排卵予測における血清 AMH 値の有用性の検討」に関する情報公開

1. 研究の対象

- 1) 実施承認日～2021年12月31日に当院産婦人科外来で早発閉経および早発卵巣機能不全で治療を受けられた方
- 2) 当院で実施中の研究課題「卵巣機能不全血清中マーカー、原因分子の探索」に参加の同意をいただき、かつ同意書の「提供する試料が、将来、新たに計画・実施される臨床研究に使用される場合は、新たな倫理審査を経て実施機関の長が承認したことを条件に、再度使用されることに同意します。」の項目に同意をいただいた方

2. 研究目的・方法・研究期間

当院通院中の20歳以上の早発卵巣機能不全患者〔早発閉経患者：一旦月経発来したが、40歳未満で閉経（1年以上の無月経）した患者、および40歳未満の卵巣機能不全患者：3か月以上の無月経かつ血清FSH値 >40 mIU/mL〕を対象とし、保存血清から血液中の抗ミュラー管ホルモン（anti-Müllerian hormone: AMH）濃度を測定し、診療録から得られたデータ（下記項目3参照）をもとに、AMH濃度が卵胞発育の有無を予測する因子となりうるか検討する。

研究期間：2017年12月1日～2022年3月31日

*上記1-2)で対象となる場合には、2014年2月26日から2019年2月25日までに、血液を採取された方を含みます。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：身長、体重、生年月日、月経歴、妊娠分娩歴、既往歴、家族歴、現病歴、血液検査データ[HGB, Hct, 血液生化学検査・ホルモン検査（血糖, インスリン, HbA1C, コレステロール, TG, AST, ALT, FSH, LH, Estradiol, Progesterone, Testosterone, Prolactin, ACTH, TSH, fT4, 抗甲状腺抗体）、画像診断データ（超音波検査、CT, MRI）、手術記録、病理検査結果

試料：血液

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学医学部附属病院総合周産期母子医療センター・大須賀 智子（研究責任者）

〒466-8550

愛知県名古屋市昭和区鶴舞町 65

TEL 052-744-2261, FAX 052-744-2268